

平成30年度 事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

1 研究助成

MEを利用した医療技術に関する研究を行う研究者あるいは複数の異なる部局(教室)・機関(大学病院、研究所等)に所属する研究者から構成される研究チームに対して次の助成を行う。

なお、助成者には贈呈書を贈り、平成30年秋季に予定する講演会に招待して紹介するほか、関連学会誌、財団機関誌及びホームページに公表する。

- (1) 個人研究については、研究者6名を選考し助成金(1名当たり100万円を限度)を贈呈する。
- (2) 共同研究については、共同研究グループ5件を選考し助成金(1件当たり200万円を限度)を贈呈する。

2 国際交流助成

MEを利用した医療技術に関する研究者の国際交流に対し、次の助成を行う。

なお、助成者の紹介は、関連学会誌、財団機関誌及びホームページに公表する。

- (1) MEを利用した医療技術を研鑽、研究又は普及、指導の目的で日本から海外に留学する者4名を選考し、助成金(1名当たり100万円を限度)を贈呈する。
- (2) MEを利用した医療技術の研鑽あるいは研究をするため日本から国際会議等に参加する研究者4名を選考し、助成金(1名当たり30万円を限度)を贈呈する。
- (3) MEを利用した医療技術を研鑽、研究又は指導のために海外から来日する研究者4名を選考し、招聘者に対し助成金(1名当たり100万円を限度)を贈呈する。

3 研究論文等の表彰

平成30年中(1月から12月まで)に発表されたMEを利用した医療技術に関する研究論文のうち、優秀であり当財団による助成対象にふさわしいもの2件を選定し、優秀賞として表彰並びに副賞(1名当たり50万円)を贈呈する。

4 出版事業

当財団の活動を関係者及び研究者に理解していただくとともに、MEを利用した医療技術の向上にも資するよう当財団の機関誌「福田記念医療技術振興財団情報」第31号を発行する。

(主な内容)

- ・財団の助成先の紹介
- ・財団の行った講演会等の紹介
- ・財団の役員、関係者からの投稿による記事紹介
- ・財団の助成事業の案内
- ・財団の助成者による研究実績報告書の掲載

5 講演会の開催

MEを利用した医療技術の振興及び普及のために行う研究発表及び講演会を開催する。

なお、講演会には、当該年度の研究助成者を招待し紹介のうえ、記念品を贈呈する。